

2019 Takanabe Shinkin Bank

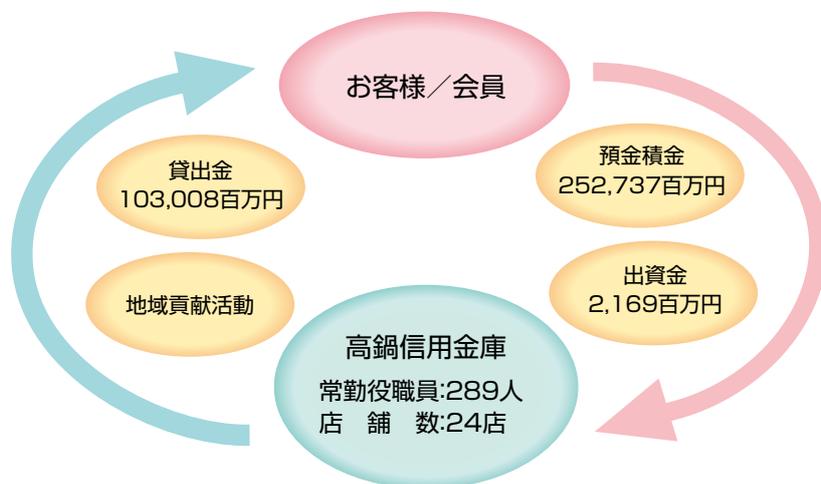
高鍋信用金庫 令和1年9月期 半期ディスクロージャー誌



日頃より、皆様には格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

当金庫は、地元の中小企業者や住民の皆様が会員となって、「地元でお預けいただいた大切なお金は、地元の皆様にお役に立つためにお使いいただく」という地元金融機関としての役割を果たすべく、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に取り組んでおります。

■ 地域とのふれあいと社会貢献活動



高鍋信用金庫営業地域

宮崎県 児湯郡・日向市・東臼杵郡門川町・東臼杵郡美郷町・東臼杵郡諸塚村・東諸県郡・
宮崎市・西都市・延岡市(旧延岡市に限る)・小林市・えびの市・都城市・西諸県郡・北諸県郡
鹿児島県 始良郡湧水町(旧吉松町に限る)

『たかしん感謝デー』 第2木曜日

全店舗・全役職員による各店舗近隣の清掃活動を実施しています。



『こども110番』

バイク後方のトランク面に『こども110番』のステッカーを貼り、営業活動のなかで幼児や小学生などに注意しながら、下校時などに不審者や変質者から子供たちを守るよう心がけています。



『地域とのふれあい』

職員自身も居住地での自治公民館活動や各種グループ活動の一員として積極的に参加し、地域とのふれあいを大切に、地域社会の一員として地域のお祭り、イベント等諸行事にも積極的に参加しております。



信用金庫の制度

信用金庫は、一定地域内の中小企業者や地域住民を会員とした、会員制度による協同組織の金融機関です。地域の皆様が利用者・会員となって互いに地域の繁栄を図る相互扶助を目的とした協同組織の金融機関であり、株主の利益が優先され、大企業を主な取引先とする株式会社の銀行とは制度・運用の面で異なる独自の性格を備えています。

会員資格

信用金庫の営業地域にお住まいの方・お勤めの方・事業所をお持ちの方は会員になることができます。ただし、個人事業者で常時使用する従業員が300人を超える場合、また、法人事業者で常時使用する従業員が300人を超え、かつ資本金が9億円を超える場合には、会員とすることができません。

業績について

収益の状況

(単位:百万円)

	2017年9月末	2018年9月末	2019年9月末
業 務 純 益	462	396	391
実 質 業 務 純 益	462	396	391
コ ア 業 務 純 益	324	255	213
コ ア 業 務 純 益 (投資信託解約損益を除く。)	260	250	158
経 常 利 益	493	418	526
当 期 純 利 益	483	421	514

※コア業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券5勘定戻

(国債等債券売却益+国債等債券償還益-国債等債券売却損-国債等債券償還損-国債等債券償却)

※上記計数につきましては、仮決算のため監査法人による監査を受けておりません。

預金・積金、貸出金残高の推移

(単位:百万円)

	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
預 金 ・ 積 金	246,813	244,691	252,737
要 求 性 預 金	98,270	97,022	101,148
定 期 性 預 金	148,543	147,668	151,589

(単位:百万円)

	2018年9月末	2019年3月末	2019年9月末
貸 出 金	100,074	101,669	103,008
割 引 手 形	118	119	90
手 形 貸 付	3,021	3,475	2,852
証 書 貸 付	87,393	88,661	90,788
当 座 貸 越	9,541	9,412	9,276

〔預金・積金〕

2019年9月末の預金・積金残高は対前年同期(2018年9月末)比5,924百万円の増加で2.40%の増加率となりました。科目別に見ると、当座預金・普通預金等の要求性預金が2,878百万円の増加で2.92%の増加率となり、定期預金・定期積金の定期性預金が3,046百万円の増加で2.05%の増加率となりました。

〔貸出金〕

2019年9月末の貸出金残高は対前年同期(2018年9月末)比2,934百万円の増加で2.93%の増加率となりました。科目別に見ると、割引手形28百万円の減少で23.72%の減少率、手形貸付169百万円の減少で5.59%の減少率、証書貸付3,395百万円の増加で3.88%の増加率、当座貸越265百万円の減少で2.77%の減少率となりました。

有価証券の時価及び評価損益

- その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	2019年3月末				2019年9月末			
	時 価	時価差額	うち益	うち損	時 価	時価差額	うち益	うち損
その他有価証券	104,014	2,894	3,350	456	105,819	3,209	3,588	378
株 式	48	0	0	0	45	▲4	0	4
債 券	81,717	3,190	3,191	1	84,265	3,350	3,360	10
そ の 他	22,247	▲295	157	453	21,508	▲136	227	363

- 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	2019年3月末				2019年9月末			
	帳簿価格	含み損益	うち益	うち損	帳簿価格	含み損益	うち益	うち損
満期保有の債券	—	—	—	—	—	—	—	—

売買目的有価証券、子会社・関連会社株式は該当ございません。

■ 内部統制の強化に向けて

近年、よく耳にする言葉に「内部統制」という言葉があります。

内部統制とは「組織内部で法律違反や不正な行為が行なわれたり、ミスやエラーが発生したりすることを防ぎ、健全な組織活動を維持していくための仕組み」であると解されます。

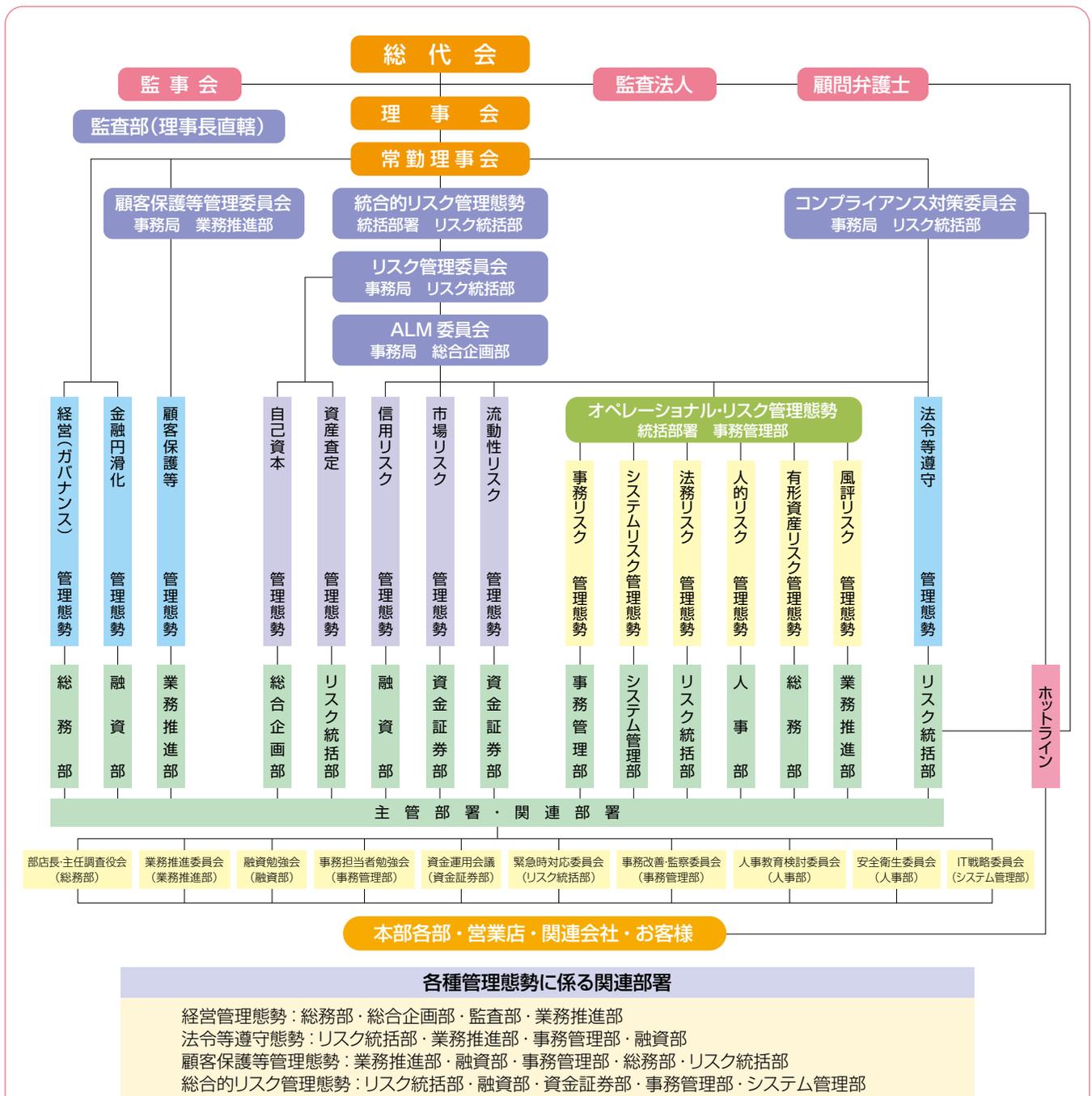
そして、この仕組みを有効に機能させるためには、予め定められた適切なルールや基準、手続きに従ってすべての業務が正しく遂行されることが必要であり、各種業務のリスクを洗い出したうえで、内部統制の整備状況や運用状況を継続的に監視および評価していくことが重要なこととなります。

当金庫におきましては、「内部管理基本方針」及びカテゴリー毎のリスク管理基本方針に基づき業務の適切性の確保を目指し取り組んでおります。

■ 内部統制に基づくリスク管理体制

内部統制に基づくリスク管理体制を下図のように定め、主管部署を中心としたカテゴリー毎のリスク管理に取り組んでおります。

内部統制に基づくリスク管理体制図



業種別貸出金の残高推移

(単位:百万円、%)

	2019年3月末		2019年9月末	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	1,377	1.35	1,525	1.48
農業、林業	1,468	1.44	1,639	1.59
漁業	1,699	1.67	1,146	1.11
鉱業、採石業、砂利採取業	5	0.00	5	0.00
建設業	3,604	3.54	3,444	3.34
電気、ガス、熱供給、水道業	2,220	2.18	2,148	2.08
情報通信業	24	0.02	71	0.06
運輸業、郵便業	714	0.70	732	0.71
卸売業、小売業	1,991	1.95	2,085	2.02
金融業、保険業	1,650	1.62	1,658	1.60
不動産業	10,886	10.70	11,515	11.17
物品賃貸業	149	0.14	173	0.16
学術研究、専門、技術サービス業	90	0.08	79	0.07
宿泊業	1,691	1.66	1,669	1.62
飲食業	1,258	1.23	1,417	1.37
生活関連サービス業、娯楽業	1,099	1.08	1,144	1.11
教育、学習支援業	250	0.24	246	0.23
医療、福祉	1,229	1.20	1,413	1.37
その他のサービス	2,045	2.01	1,994	1.93
小計	33,459	32.90	34,111	33.11
地方公共団体	16,785	16.50	16,586	16.10
個人(住宅、消費、納税資金等)	51,424	50.57	52,310	50.78
合計	101,669	100.00	103,008	100.00

事業者の中では不動産業が11.17%で最も多く、事業者以外では地方公共団体が16.10%、個人(住宅、消費、納税資金等)が50.78%、となっています。

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

単体自己資本比率(国内基準)

自己資本比率は、経営の健全性・安全性を測る重要な指標の一つであり、2019年9月期における当金庫の自己資本比率は14.10%となりました。国内で業務を行う信用金庫に求められている自己資本比率の4%を大きく上回っており、経営の健全性を維持しています。

(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2019年9月末
① コア資本に係る基礎項目の額	13,505	14,006
② コア資本に係る調整項目の額	712	718
③ 自己資本額(① - ②)	12,792	13,287
④ リスク・アセット等	90,630	94,184
⑤ 自己資本比率(③ / ④ × 100)	14.11	14.10

定量的な開示事項

・自己資本の充実度に関する事項

(単位:百万円)

	2019年3月末		2019年9月末	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
①信用リスクに対する所要自己資本の額	83,978	3,359	87,531	3,501
②オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	6,652	266	6,652	266
③単体総所要自己資本額	90,630	3,625	94,184	3,767

(注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%

2. 当金庫は、基礎的手法によりオペレーション・リスクを算定しています。

3. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

<オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法>

粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)×15% ÷8%
直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数

金融再生法開示債権額・保全状況

(単位:百万円、%)

	2019年3月	2019年9月			
	残高	残高	保全状況		
			担保・保証	貸倒引当金	計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,765	2,708	832	1,875	2,708
危険債権	804	767	397	200	598
要管理債権	369	357	211	16	227
計	3,939	3,833	1,441	2,092	3,533
不良債権比率	3.85%	3.69%	保全率 92.19%		
正常債権	98,432	99,961			
債権額計	102,371	103,795			

※単位未満切捨てのため合計が一致しない欄があります。

当金庫では、経営の健全性を高めるために厳格な自己査定を実施しており、その結果金融再生法の不良債権は3,833百万円となりました。この融資先に将来もし倒産でもあった場合、当金庫の経営に影響が及ばないよう、2019年9月期には引当金総額2,092百万円にて、確実な担保・保証でカバーされている部分を含め92.19%の保全ができています。

【用語説明】

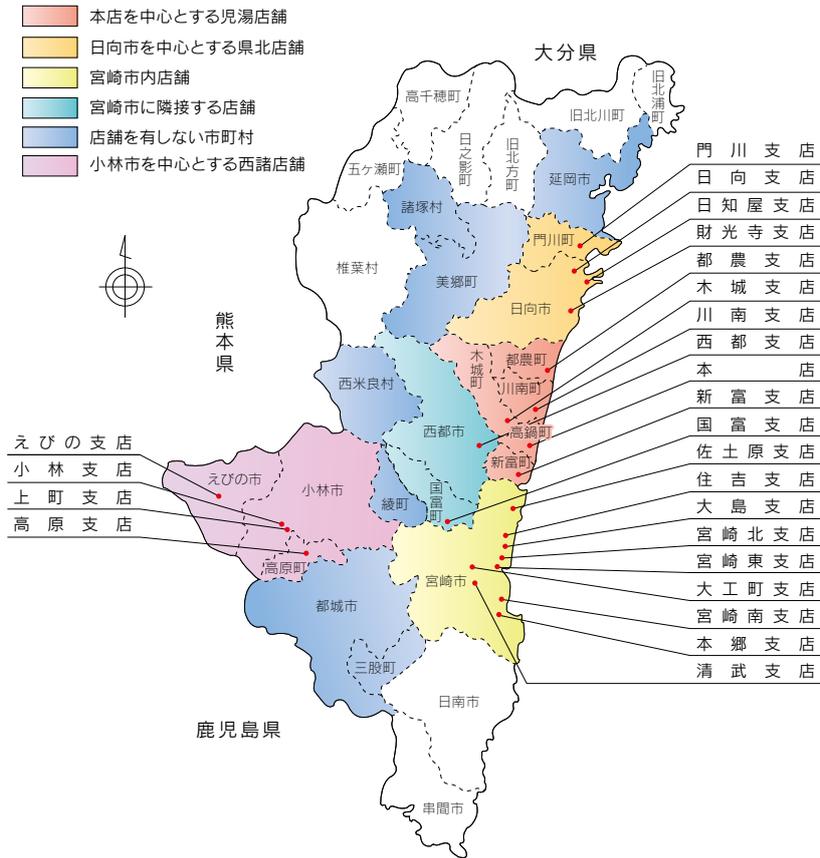
破産更生債権及び

これらに準ずる債権… 破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

危険債権…………… 債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

要管理債権…………… 「三か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

■ 営業店舗一覧



■ 本 店	児湯郡高鍋町大字高鍋町673 TEL.0983-22-2222 FAX.22-5473
■ 新富支店	児湯郡新富町富田2丁目91番地 TEL.0983-33-2222 FAX.33-5236
■ 木城支店	児湯郡木城町大字高城1235-5 TEL.0983-32-2222 FAX.32-2497
■ 川南支店	児湯郡川南町大字川南17701-53 TEL.0983-27-2222 FAX.27-2017
■ 都農支店	児湯郡都農町大字川北4601-2 TEL.0983-25-2222 FAX.25-3069
■ 日向支店	日向市鶴町2丁目2番 TEL.0982-53-2222 FAX.52-3651
■ 佐土原支店	宮崎市佐土原町松小路5番地1 TEL.0985-73-2222 FAX.73-3600
■ 宮崎北支店	宮崎市神宮東1丁目5-25 TEL.0985-26-2222 FAX.29-1220
■ 住吉支店	宮崎市大字島之内7156-1 TEL.0985-39-2222 FAX.39-2689
■ 宮崎東支店	宮崎市吉村町堂ノ後甲2663番地の3 TEL.0985-28-2222 FAX.26-8579
■ 西都支店	西都市大字妻1677-1 TEL.0983-42-2222 FAX.42-3349
■ 財光寺支店	日向市大字財光寺248-1 TEL.0982-54-2222 FAX.52-1697

■ 宮崎南支店	宮崎市恒久2丁目15-19 TEL.0985-51-2222 FAX.52-6813
■ 国富支店	東諸県郡国富町大字本庄1954-8 TEL.0985-75-2262 FAX.75-8895
■ 門川支店	東臼杵郡門川町西栄町1丁目2-3 TEL.0982-63-5800 FAX.63-6706
■ 大工町支店	宮崎市松橋2丁目176-1 TEL.0985-26-2240 FAX.26-2197
■ 日知屋支店	日向市曾根町1丁目125 TEL.0982-53-7800 FAX.52-1724
■ 本郷支店	宮崎市大字本郷南方2101-1 TEL.0985-56-5411 FAX.56-3934
■ 清武支店	宮崎市清武町西新町10番地7 TEL.0985-85-6333 FAX.85-5599
■ 大島支店	宮崎市阿波岐原町火切塚1459-3 TEL.0985-27-2266 FAX.27-6200
■ 小林支店	小林市細野1597 TEL.0984-23-3181 FAX.23-4751
■ 高原支店	西諸県郡高原町大字西麓989-3 TEL.0984-42-1050 FAX.42-4906
■ えびの支店	えびの市大字栗下167-3 TEL.0984-35-1011 FAX.25-4061
■ 上町支店	小林市細野2258-1 TEL.0984-23-7111 FAX.22-8790



2019年度上半期ディスクロージャー誌 (編集・発行 高鍋信用金庫 総合企画部)

〒884-8666 宮崎県児湯郡高鍋町大字高鍋町673 TEL.0983-22-2222
http://www.takanabe-shinkin.jp